

【教職実践研究科（専門職学位課程）アドミッション・ポリシー】

令和4年7月13日人間発達文化研究科委員会制定

1. 教育目標と求める学生像

教職実践研究科教職高度化専攻（教職大学院）では、実践研究テーマにおける理論と実践の往還をとおり、確かな課題意識と豊かな想像力、着実な実践力をもって、地域課題および教育課題に果敢に挑む「イノベーション人材」となることを希望する学部新卒学生あるいは現職教員を受け入れます。

地域の教育課題について理解を深め幅広い視野を備えるとともに、授業力、マネジメント力など高い実践力を身につけ、常に学び続け、教育課程の改善や学校改革を牽引する「教員のミドル・リーダー」をめざす学生を求めます。

2. 入試の際に求める知識・技能・関心

「教員のミドル・リーダー」となるためには、次に掲げる知識・技能・関心を有している学部新卒学生あるいは現職教員を求めます。

- ① 「教職」に対する研究的な強い関心
- ② 大学院での教育実践的研究の基礎となる当該分野や領域での学力
- ③ 大学院での教育実践的研究に関する明確な目標と計画

3. 入学者選抜の基本方針

教職実践研究科では、下表に記した方法で、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等）」の学力の3要素を評価します。

入試の種類	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
一般入試	研究計画・成績証明書・学習履歴レポート・小論文・面接		面接
福島大学生特別入試	研究計画・成績証明書・学習履歴レポート・推薦書・面接		面接
現職教員特別入試	研究計画・実践記録レポート・面接		面接